



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.57

Edition April 13th, 2018

WKFの意思決定プロセス

■ WKFの競技規定や年間スケジュール 大会運営方針はどこで誰が決めるのか？

WKFは1970年に前身であるWUKO(世界空手連合)として東京で誕生し、第1回世界選手権を日本武道館で開催しました。変遷を経て現在のWKFとなり、「オリンピック種目となること」を具体的活動目標としてきました。

2020東京オリンピックでの種目採用が決定して以降、WKFの規約には、「**オリンピック種目として更なる向上を目指すこと**」が掲げられました。

時流とともに規約や競技規程が改訂され、大会が新設されたり廃止されたりしていきます。

今回は、こうした方針はどこで誰が決めているのか？ 当連盟の意思決定機関とプロセスを解説します。

■ WKFの意思決定に関わる機関は 次の3つから成る

① 総会 (Congress)

WKFの最高意思決定機関で、原則として2年に1回、シニア世界選手権大会期間中に招集される。総会では規約の改廃、各国空手連盟(NF)加盟の可否決定、理事選挙といった最重要事項が審議される。

② 理事会 (Executive Committee)

28名の理事(2018年現在)から成る、業務執行の決定を行なう機関。



WKFの最高意思決定機関である総会は、各NFの代表者の出席によって成立する。

③ 委員会 (Commissions)

WKFには審判委員会、選手委員会、オリンピック戦略委員会など16の委員会があり、個別に会議を開き、担当業務を遂行している。

■ 意思決定の流れ

様々な案件は、まず委員会に提案され、検討・審議を経て、委員会案として理事会に上程されます。

理事会の審議後、再検討が必要な事項は委員会へ差し戻され、採用された事項は規約にのっとり関連する各委員会、NFに通知されます。案件によっては総会に付議されます。

(次のページでWKFの意思決定プロセスを図解しています)

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

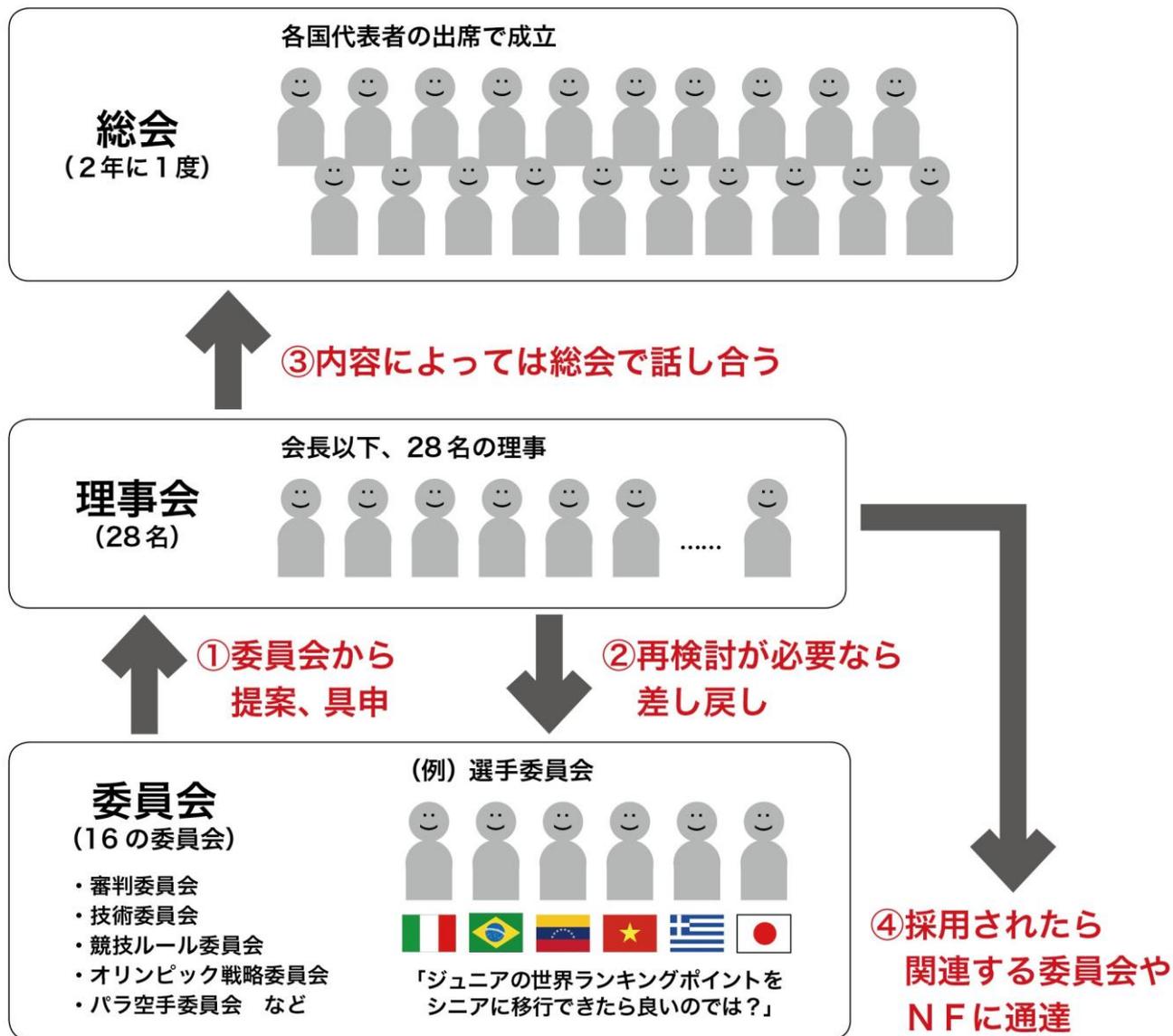
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.57

Edition April 13th, 2018

WKFの意思決定機関とプロセス



〈ポスト獲得の重要性〉他の国際スポーツ団体も同様の構造をしており、国際スポーツ界における日本の存在感を強固にするためにも、NFの発言力を高めるためにも、役員・委員のポスト獲得はたいへん重要です。特に空手母国の日本として良き伝統を守りつつオリンピックスポーツとして競技水準の向上を図り、世界中の人々の理解を得、一方で世界の現状・動向を知るためにも日本人メンバーの存在は欠かせません。

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wgf-gs.jp